

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	観光協会補助金
------	---------

担当課	シティプロモーション部 観光プロモーション課	実施主体	(一社) 成田市観光協会										
科目・事業コード	<table border="1"> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>07</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>20 - 05</td> </tr> </table>	会計	款	項	目	事業	一般	07	01	03	20 - 05	R06 予算額	10,800 千円
会計	款	項	目	事業									
一般	07	01	03	20 - 05									
新規・継続の別	継続	R05 予算額	10,800 千円										
補助・単独の別	市単	R04 決算額	10,800 千円										
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	10,800 千円										
交付開始年度	昭和 29 年度	終了予定年度	令和 8 年度										

事業の目的・概要	<p>(一社) 成田市観光協会は、本市への観光客誘致のため、四季折々の各種イベントを実施または支援するほか、観光PRを行うことにより、国際観光都市成田の更なる魅力の向上を図っている。</p> <p>市として当該団体へ補助金を交付し、国内外へ観光情報を発信することで、特性を生かした観光振興を推進する。</p>	補助対象事業	<p>成田市観光協会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の管理運営に要する経費 ・観光行事等に係る経費 																				
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市補助金等交付規則 ・成田市観光協会補助金交付要綱 	補助基準等																					
留意事項		補助	<p>観光協会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助基本額 10,800千円 																				
決算内訳	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>24,672</td> <td>24,672</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入額の内 自主財源</td> <td>市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13,872</td> <td>10,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主財源比率</td> <td>繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>56.2%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	24,672	24,672	0	収入額の内 自主財源	市補助金額		13,872	10,800		自主財源比率	繰越金/補助金		56.2%	0.0%		率 ・ 額
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																							
収入額	支出額	翌年度繰越金																					
24,672	24,672	0																					
収入額の内 自主財源	市補助金額																						
13,872	10,800																						
自主財源比率	繰越金/補助金																						
56.2%	0.0%																						

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	魅力ある観光地づくりを推進しており、成田市総合計画の基本目標に掲げる「地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	ウ. 地域の経済・産業の振興・雇用の促進に寄与することができる活動に該当
	市民協働を推進する目的があるか	はい	協会の会員のほか、まちづくり塾などの任意の団体と協力し、事業を実施している。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	協会は、観光情報の提供や発信に係るノウハウなど、観光に関する専門知識を持っている。
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	観光は本市の主要な産業の一つであり、市内の経済発展に寄与する。
	市が関与する必要性があるか	はい	市と一体となった観光プロモーションを実施しているため必要である。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	観光PRやキャンペーンなど、市が独自に実施するには大きな労力や費用が必要となる。
	類似の事業はないか	はい	特になし
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	観光客誘致等の観光振興に関する活動を行っている。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	市の施策に賛同し、収益性の乏しい事業の実施も担うことから、これを補完する必要がある。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	総会時に、年間計画や予算・決算の承認を得ている。領収書等により使途を確認できる。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	R04年度決算：補助額10,800千円、繰越額0千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	成田市観光協会補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	観光入込客数 (R2：1,075万人、R3：820万人、R04：973万人)
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	観光振興や地域経済の発展に寄与している。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	観光客誘致を目的として、行政だけでは実施が困難な事業において大きな役割を果たしているが、自主財源のみでは運営が困難である。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。

最終評価	維持継続
評価者 所見	観光客の誘致を目的に実施するイベント等については、本市の基本目標で掲げている「地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり」の達成に向けた取り組みと合致しており、本市の観光PRに大きく寄与するものである。 また、市が直接実施するよりも、迅速かつ柔軟な対応に優れている成田市観光協会への補助事業として実施することで、効率的に行政目的が達成可能なため、補助を継続する。